

淀川水系流域委員会殿

「3つの質問」に対する河川管理者の回答

平成 20 年 2 月 16 日

「関西のダムと水道を考える会」

野村東洋夫

私達は近畿地方整備局に対し 1 月 31 日付で「(丹生ダム・川上ダム) 河川管理者への 3 つの質問」と題する質問を行いました(→意見書No.956)、これに対する回答が届きましたので、以下にご紹介します。

残念ながら回答は「数字を付けて具体的に」との私達の要望に全く応えてくれられていませんので、この先の詳細については貴委員会審議でも取り上げて下さいますようお願いいたします。

。。。。

野村さま

お世話になります。

頂いておりますご質問について、回答させていただきます。

本来なら整備局の窓口から回答させて頂いているところですが、担当が出張中のため直接送付させていただきます。そのため、後日、別途窓口からも同じ回答が届くと思いますがご了承願います。

国土交通省 近畿地方整備局 河川部

河川計画課 課長補佐 今須 重明

〒540-8586 大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎1号館

現時点でも高山ダムの洪水調節容量と不特定容量の堆砂量は1,175千m³あり、今後、更なるダムの機能の低下が危惧されます。

そのため、維持管理費用（ライフサイクルコスト）の縮減を考えた堆砂対策として、川上ダムに代替容量を確保し、計画的に堆砂除去を行っていくことにより、より長く、より確実にダムの機能を保持できると考えています。

〔質問3〕（残土処分）

堆砂掘削に伴う残土処分は、高山ダムだけでも相当な量となると思われませんが、この処分方法を具体的にお示し願います。

回答

堆砂掘削に伴う土砂については、下流への土砂還元や盛土材等の資源としての有効利用を考えています。

（以上）